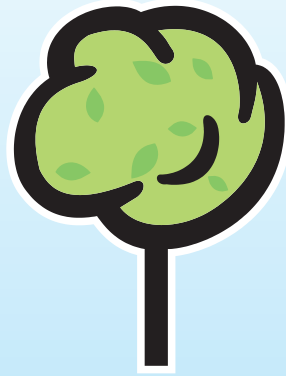


2010  
Vol. 8

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING HOME  
HOUJUN

# Fruit full tree



豊かな樹・豊寿園



## 特集1 シリーズ

# あなたと向き合った日々

昨年度に引き続き、ご家族様の介護体験を教えていただくため、今回は奥水介護係長が直接インタビューを行いました。今回、インタビューに応じていただいたのは梅谷由起子さんです。

—「ご自宅ではどういった状況でしたか？」—

—「豪快なお父さんでした。ある日近所の方との宴会に両親が参加し、気分が悪いと父だけが歩いて帰ってきました。トイレに座り込んでいる父を見て夫が『笑われてもいいから救急車を呼んだら?』と言いました。正解、脳出血でした。気管切開をされて1ヶ月意識が戻らず、毎日私は職場から病院へ通いました。ようやく意識が戻り、入院生活が2ヶ月を経った頃には歩けるまでに回復したまでは良かったのですが、病棟内の徘徊が始まりました。違う病棟のベッドに寝ていたとゼッケンを付けられる始末でした。その後何とか自宅に戻ることができましたが、車を運転しては時速30kmで渋滞を引き起こしてしまったり、再度の脳出血で4ヶ月の入院した後は車椅子生活になりました。デイサービスとホームヘルパーを利用して何とか在宅生活を送ることができましたが、転倒により腰椎を圧迫骨折して入院となりました。入院中に大声を出すなどの行動か



インタビューに応じてくださった  
梅谷由起子さん



今回の聴き手：奥水介護係長

ら退院を迫られ、他の受け入れ先として老健などを探しましたが、受け入れ先が見つからず困り果てたことが今でも忘れられません。」—

—「やはりご自宅での介護 特にお仕事をお持ちの方はその両立が大変ですね。今日は本当にありがとうございました。」—

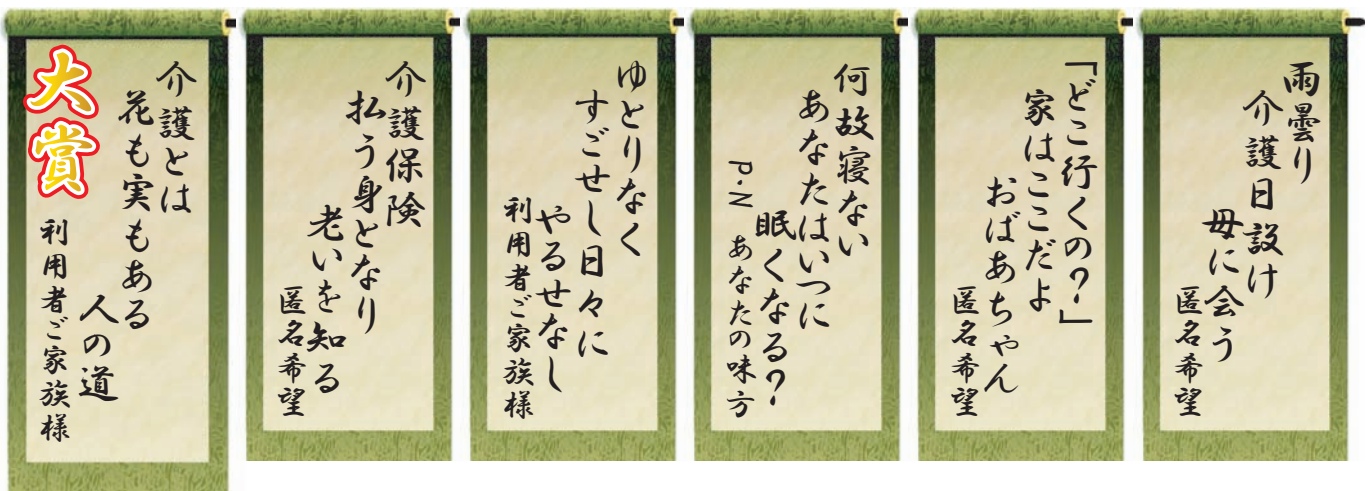
今回インタビューに応じてくださった梅谷さんは、お父様の介護体験をきっかけに介護の仕事を目指され、現在ではケアプランセンターでケアマネージャーとして同じく在宅介護を頑張っている方々の支援をされています。

皆さんの介護体験も教えていただけませんか？ インタビューに応じていただける方は豊寿園生活相談係までお気軽にご連絡ください。



## 華麗なる川柳への道

今号より読者の皆様から川柳を募集しました。ご応募いただいた作品の中から大賞を選出します。大賞者には記念品を贈呈させていただきます。今回のお題は「介護」です。

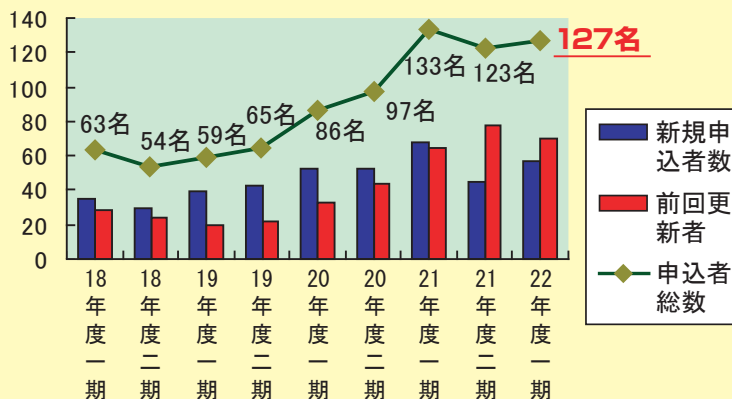


介護のご苦労が感じられる内容が多く見られましたがどの作品にもその裏には対象者への強い愛情が感じられるものばかりでした。ご投稿ありがとうございました。投稿はエントランスホールの投稿箱の他にお電話でも受け付けています。次回のお題は「秋」です。たくさんのお作品をお待ちしています。



## 豊寿園トピックス

### 平成 22 年 6 月以降の入所待機者が決まりました !!



特別養護老人ホームへの入所については、介護保険制度開始以降、要介護度や介護者の状況等を踏まえて、より緊急性の高い方から順に順位を割り振り、定員に空きが出るのをお待ちいただくというシステムになっています。

去る5月21日（金）第三者を交えた入所検討会議にて、今回（平成22年6月1日～平成22年11月30日）待機順位を検討した待機者数は127名でした。

また、7月より北九州市の入所申込方法の改訂が行われております。詳細については北九州市介護保険課ホームページをご覧ください。

### 利用者満足度調査の集計が終わりました !!

昨年度2月に豊寿園の入所・ショートステイ・デイサービス・ケアプランセンターをご利用いただいておりますご利用者様を対象として満足度についてのご意見をいただきました。集計結果では全体的に良い評価をいただきましたことに感謝申し上げます。いただいた様々なご意見については園内に掲示し皆様にお知らせするとともに、今後の事業計画の参考とさせていただきます。ご協力をいただきありがとうございました。

### 赤十字救急法指導員資格を取得しました !!



この度、赤十字救急法指導員の資格を荒木介護長、秋山介護長が取得しました。先に取得していた松隈係長に加え、これで豊寿園には3名の指導員が在籍することとなります。既にボランティア団体で初めての講座を行っております。皆さんのお住まいの町内会や会社等で心肺蘇生法や応急手当の講習会をご希望の際は、お気軽に豊寿園までご連絡ください。

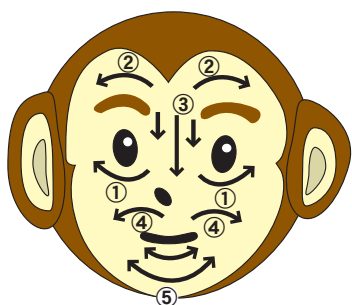


## 特集2 シリーズ

## 介護一口メモ

### 体を拭いて気分爽快！部分清拭の方法

季節は徐々に夏に向け暑くなっておりますが、高齢者は出来るだけ入浴させてあげたいものです。しかしながら体の具合、浴室環境によって入浴できない場合があると思います。その時は、体の清拭が効果的です。心身ともにリラックス効果があり、入浴と同様に汗や汚れを除去し、新陳代謝や血液循環の生理作用を高め、細胞を活性化させて感染予防に役立ちます。タオルの温熱は、清拭時のマッサージや摩擦によって褥瘡予防効果や軽い運動効果もあり、適度な爽快感と疲労感をもたらします。高齢者の方の体力低下や介護者の負担を考え今回は部分清拭のポイントをお伝え致します。



- ① 目頭から目尻にむけて拭き同じ面は二度使わないようにします。目は涙や目やにが出やすく、高齢者は視力低下や目の疾患にかけると日常生活に影響が出て、目が疲れやすくなります。
- ②③④ 額→鼻→頬  
鼻も呼吸によって病原微生物の侵入に冒される場所で、鼻粘膜は外から入る塵や異物を防ぎ、鼻汁として外に出す働きをしています。通りをよくし、清潔にしておいてください。
- ⑤ 口の周りは内側から外側に拭きます。顔はしわを伸ばしながらそっと拭くように心がけてください。

## 豊寿園アルバム

園内行事等の模様をお伝えしていくコーナーです。  
今回は4月から6月までの園内行事です。



### ～ 春風を感じられたバスハイク ～



4月7日に安部山公園にお花見に行きました。桜は少し散っていましたが、皆さんは優しいピンク色をした桜の花を眺めながら

持っていった三色団子を美味しく召し上がりました。



### ～ ご家族様と一緒に楽しくバスハイク ～



5月19日にご家族様と一緒に小倉南区のサンリブシティへバスハイクに行きました。現地では買い物や食事を楽しまれ、普段と

違う雰囲気皆さんの表情もいつも以上に明るく感じられました。



### ～ こどもの日を祝いました ～



5月7日に端午の節句の行事を新門司保育所の園児とともに行いました。園児のお遊戯を見せていただいた後は、ご利用者様から園児へこどもの日の祝品をお渡ししました。

様から園児へこどもの日の祝品をお渡ししました。



### ～ お陰様で13周年を迎えました ～



6月5日に第13回目の開園記念日の記念行事を行いました。今年度は初の試みとしてご家族様とデザートビュッフェを楽しんで

いただきました。



### ～ 平成22年度家族会総会 ～



開園記念日行事と同日の6月5日に家族会総会が開催され、36家族が参加されました。予定の議事については全て承認され

ました。参加者より園に乾湿温度計を設置してはどうかとの意見があり、早速設置いたしました。



### ～ 喫茶を行いました ～



6月23日24日に、園内にて喫茶を行いました。店に入店すると、どこからともなく笑い声やどれにするかを相談している声

が聞こえます。ご利用者様からは「今度は孫を連れてこようかな・・・」という感想が聞かれました。



# どっどクロス!計画



豊寿園の地域の方々との交流の様様についてご紹介します。

## ～ 統一ボランティアデー ～



毎年5月は、赤十字運動の強調月間です。その一環として豊寿園職員も、5月29日(土)に北九州赤十字看護奉仕団「じゅんの会」の皆さんと門司港レトロ地区の清掃活動を行いました。

活動に先駆け、日頃から赤十字活動にご協力をいただいている「じゅんの会」の皆様へ豊寿園よりスタッフジャンパーを贈呈し和気あいあいとした中でのスタート。

爽やかな天候の下、近隣の方から、「頑張ってくださいね!」との温かい言葉もいただき、約1時間でタバコの吸殻などを袋一杯に回収しました。

## ～ 第1回松ヶ江北小学校交流事業 ～



6月16日(水)に松ヶ江北小学校との今年度第1回目の交流会を行いました。今回は日赤福岡県支部から職員と国内型緊急対応ユニット(dERU)を呼び、小学校の駐車場で赤十字の災害救護について授業しました。豊寿園の職員も一緒に体育館で巨大なエアテントを張るお手伝いをしました。参加した児童は初めて見る機材に目を輝かせていました。次回は7月に同じく小学校に職員が出向いて、認知症についての授業を予定しています。

## ～ 門司みなと祭り ～



5月23日(日)、昨年度に引き続き参加を予定していましたがあいにくの雨天でパレードが中止となってしまいました。職員が構想1年作業2ヶ月の末に完成させた“献血ちゃん”は来年度までお蔵入りすることになりそうです。しばらくはエントランスホールにてご来園される方に可愛がっていただきたいと思います。

## ～ ボランティア養成講座 ～



6月23日(水)に園内にて昨年度に引き続き、門司区ボランティア・市民活動センター主催の“ボランティア養成講座”が開催されました。この講座は小中学生向けにセンターが行っている福祉体験講座で講座運営の協力者となってもらうことを目的として開催されているものです。豊寿園としては会場の提供と職員が講師として協力させていただきました。当日は10名の参加があり、体におもりをつけるなどして、体が不自由となった方の気持ちを体験したり、車椅子の操作方法等を学んでいただきました。また、認知症ケア専門士、認知症サポーターキャラバンメイトである秋山介護長から認知症についての講義を行い、参加者の皆さんは対応方法などを真剣な顔で聞き入っていました。



## 特集③ シリーズ

# 豊寿園ブログ村

豊寿園に勤務する職員が私生活で感じたことなどを徒然に書き込む豊寿園ブログ村。  
第1回は今年度からケアプランセンター管理者として勤務する城戸匡美さんです。

森林や稲の緑が綺麗な時季になりました。緑は体や心が癒されますが、私も仕事の疲れを癒しに森林浴に行っています。

私のお薦めは201号線より53号～500号線に進んで到着する添田町の英彦山です。車を降りると冷たい空気がおいしく、神社へ上がる石段は木々に囲まれており、緑色の景色はとても気持ちが落ち着きます。

石段を上がるとそこには樹齢890～900年の杉があり、圧巻物です。私はいつも座ってずーっと眺めています。

英彦山神宮奉幣殿までは、以前は長い階段を上って行かなければいけませんでした。現在は英彦山スロープカーがで、車いすの方でも参拝に行けるようになりました。

歩くのが苦手な方へ・・・『道の駅 歓遊舎ひこさん』でこんな物を見つけました。『飲む森林浴』白樺樹液100%だそうです。お味は・・・一度試してみたいですか？



次号はヘルパーステーションアプレのサービス提供責任者 磯崎伸子さんです。



## お手軽クッキング

### ★にんじんゼリー

【材料】	5人分		
にんじん	100g (約半本)	プレーンヨーグルト	100g
砂糖	40g	砂糖	15g
ゼラチン	5g		
水	175cc		
レモン汁	15cc		
オレンジキュラソー	少々		

#### 【作り方】

- ①にんじんは皮を剥き薄切りにする。
- ②にんじんをやわらかく茹で、水気を切って裏ごしする。
- ③ゼラチンを水でふやかす。
- ④にんじん・砂糖・水を合わせて火にかける。
- ⑤④を火からおろし③のゼラチンを入れる。
- ⑥あら熱をとりオレンジキュラソーを加えて少しロミがつくまで冷ます。
- ⑦⑥を型に流しいれて冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑧ヨーグルトソースを作り固まった⑦を適当な大きさに切ってソースを添える。



## 次号予告

次号は10月発行予定です。

- 特集  
「あなたと向き合った日々」「豊寿園ブログ村」
- 豊寿園アルバム  
「7月七夕 (7/6実施予定)」  
「8月夏祭り (8/7実施予定)」  
「9月敬老会 (9/20実施予定)」  
の様子をお伝えします
- もっとクロス  
「夏休み福祉体験講座 (7/30実施予定)」  
「第2回松ヶ江北小学校交流 (7/21実施予定)」  
「門司区日赤奉仕団交流会 (9/2)」  
の様子をお伝えします
- 華麗なる川柳への道  
お題「秋」です。皆さんの力作をお待ちしております。
- お手軽クッキング  
秋の旬食材をつかった簡単レシピを紹介します



## 編集後記

この号の発行時には既に終了しているサッカーワールドカップ。我が侍ジャパンは目標のベスト4進出はなりませんでしたが、日本中に熱狂とさわやかな感動を運んでくれました。サッカー大好きな私はこのコラムを書きながら眠れない日々を過ごしました。サッカーの醍醐味はいくつかありますがつきないのはフォーメーション論議です。ふとそのフォーメーションを豊寿園に置き換えたなら誰がどのポジションだろうかと妄想することも私のひそかな楽しみでもあります。監督である榎本園長の下、相手(改善点・問題)に柔軟に対応できるフォーメーションは何?私はどういったプレー(働き)が必要?と日々夢想しています。さて今号より内容も新たにした豊かな樹では、近中に可動予定のホームページと併せて豊寿園の今をお伝えしていきたいと思ひます。内容についてご意見等ございましたらお気軽にご連絡ください。

平成22年度広報委員  
生活相談係主任 森 英樹

発行：平成22年7月15日  
日本赤十字社福岡県支部  
特別養護老人ホーム豊寿園  
広報委員会  
〒800-0112  
北九州市門司区大字畑1808-5  
TEL (093) 481-1121  
FAX (093) 481-5678